



～あなたも民商の共済会に～
 会員・配偶者は無条件で加入可
 同居家族、従業員も加入可

月 1,000 円

見舞金・祝金

村上民商ニュース②

2021/9/27

NO.434 村上市仲間町334

村上民主商工会

☎75-5272 FAX62-7392

簡単

大腸がん検診のご案内

検診実施日

11月5日(月)
 11月16日(火)の2日間



容器回収場所

民商事務所玄関

検査方法

便を容器に入れるだけで、
 1回の簡単な検査です。

※詳細は後日お知らせしますが、
 申し込みを希望の方は民商へご連絡を。

会員の皆さま お知らせください

全商連創立70周年記念式典「顕彰申請」にあたり、村上民商に会員として40年以上、50年以上在籍している方は、顕彰の対象となりますので、民商へお知らせください。

「商工新聞」読者の紹介をお願いします

商工新聞は毎週月曜発行で購読料は、月500円。商売に役立つ情報が満載、毎週内容豊富な商工新聞を購読して下さる方をぜひご紹介下さい。みなさんの「困った！」の力になります。



新型コロナウイルスの感染症の影響が
 長期化し事業継続を図る事業者への助成

村上市家賃支援給付金

令和2年12月から令和3年6月までのひと
 月が前年または前々年同期比20%以上減少

助成対象経費

駐車場代・地代を含む店舗賃料など3ヶ月分

助成金額

助成対象経費の2分の1で
 上限10万円

必要書類

賃貸契約書の写し、青色申告
 決算書や収支内訳書など

申請期間

8月16日(月)～
 10月29日(金)

国の「月次支援金」制度

7月分の申請期限9月30日

2021年1年間売上と、2019年又は2020年の同じ月と比べて50%以上減少

対象

緊急事態措置やまん延防止措置に伴う飲食店休業・時短営業、外出自粛等の影響を受けている

給付額

個人事業上限10万円

飲食店の営業時間短縮をされた方へ

国の「月次支援金」制度の9月分の申請と、新潟県営業時間短縮協力金の申請を二重で申請することはできませんのでご注意ください。

あわてないで！ インボイス登録申請

インボイスの登録申請をすれば自動的に課税業者となるので申請には注意が必要です。

政府は、2023年10月1日からインボイス制度を実施しようとしています。登録申請は原則として同年3月31日までにすることになっていますが、取引先や事業実態の状況をよく考えてから申請をするようにしましょう。

急いで申請しない。あせらない！あわてない！

10/1～開始

過払い金の相談も受付しています

10月の無料法律相談

日時

10月13日(水)

午前10時30分

会場

村上民商事務所

弁護士

新潟中央法律事務所

小淵真理子弁護士

※相談受付締め切り 10月11日(月)

☆相談希望の方は、必ず事前に電話で予約を。
 ☆緊急の相談は新潟市の同法律事務所です。
 事務局まで連絡を。



あなたも民商の共済会に～
 会員・配偶者は無条件で加入可
 同居家族、従業員も加入可

月 1,000 円

見舞金・祝金

村上民商ニュース①

2021/9/27

NO.434 村上市仲間町334

村上民主商工会

☎75-5272 FAX62-7392

裏面もご覧ください

村上民商 会員さん紹介コーナー

第11回目の村上民商会員のご紹介は、
 関川村で看板製作業を営む吉田尋良さんです。

看板製作業「ヨシダ工房」 吉田尋良さん(66歳)

連絡先

◆住所 関川村大島 1112-1
 ◆電話 0254-64-0893



吉田さんが製作した
 「関川村スポーツ公園」の看板



自慢の2台のバイクは吉田さんが製作したもの。新潟運輸局
 管内で「サイドカー付オートバイ」の認可は個人取得第1号。



事務所の看板も
 吉田さんが製作しました

昭和55年から関川村
 で看板製作業を営む、ヨ
 シダ工房の吉田尋良さ
 ん(66歳)。音楽とモノ
 づくりが好きで高校卒
 業後YAMAHA(埼玉工
 場管楽器部)に入社しま
 した。
 奥さんの兄が仕事と
 していた看板製作を手
 伝っていたこともあり
 41年前に地元に戻り
 「ヨシダ工房」を開業し
 ました。



手造りの薪ストーブ
 この冬も活躍しそうです

開業してすぐに、入
 会。当時は村上民商の
 創設時であり、役員とし
 て加わりました。「様々
 な集会に参加し、いろ
 りな話が聴けて、何より
 業種の異なる会員さん
 のお話がとても良い。コ
 ロナが終息し、また皆さ
 んとお話できると良い」
 と話していました。
 現在は村上民商の会
 計監査を担当していま
 す。

「時代とともに仕事の
 やり方、表現の仕方が、
 変わっていく。常に新し
 いやり方を収得していかな
 ければならない」と言
 います。
 看板のお話があると、
 デザイン↓下地から製
 作↓取付完了まで、自
 社で行うのが売りです。
 これまでも、お店や旅
 館の看板、村発注の大型
 看板など、数々の看板を
 手がけ「細かいところや
 難しいところは、モノづ
 くりそのもの」と話して
 います。

当時は、筆とペンキで
 車や壁に直接文字を
 「描く」のが主流。その
 後は、カッティングシート
 やインクジェットプリン
 ターで出力したものを
 「貼る」に変わり、広い作
 業場が必要となり、鉄骨
 平屋建作業場を手造り
 し、現在の場所に移転し
 ました。